

序

市野川 容孝

2017年度の調査は計5つの班からなり、それぞれが以下の報告書を作成した。

1. 変貌する公共図書館——東京都基礎自治体の事例から
2. まちづくりにおけるアートと歴史——横浜市中区黄金町の事例から
3. サイテナブル・スマート・タウンという試み——パナソニック株式会社の藤沢工場跡地利用とFujisawa SST
4. 清澄白河における再開発
5. HIV／エイズとの共生における「ピア」概念の可能性——東京都における予防・啓発・支援の取り組みを事例として

以下に掲載する2つの論文は、上の最初の2つの報告書をもとに、あらたに書き下ろされたものである。

松村一志の論文「変貌する公共図書館」は、東京都内の公共図書館を対象に、インタビュー調査を通じて、A・アンニョリの言う図書館の近代化がこれまでどのようになされてきたか、また現在なされつつあるかを論じている。坂井晃介の論文「まちづくりにおけるアートと歴史」は、横浜市中区黄金町の新しいまちづくりにおいて、アートと歴史がどのような意味と機能を果たしたかを、インタビュー調査を通じて明らかにしている。

この2論文のみならず、上記の5つの調査それぞれにご協力いただいた方々すべてに、この場を借りて、あらためて深く御礼申し上げます。